

九州減災シンポジウムを開催！

～九州の自然災害リスクを知る・学ぶ～

「九州減災シンポジウム～九州の自然災害リスクを知る・学ぶ～」を今年も開催します。本シンポジウムは九州における自然災害リスクについて広く発信することを目的に開催していき、昨年に続き2回目の開催となります。今回は『南海トラフ地震に備える』をテーマとして、基調講演やパネルディスカッションを行います。

<シンポジウム概要（詳細は別紙参照）>

- 日 時：令和7年11月20日（木）13:30～17:00（開場 12:30～）
- 開催場所：アクロス福岡 B2 イベントホール（福岡市中央区天神1丁目1番1号）
- 主催：九州減災シンポジウム実行委員会
- 参加者：会場 200名程度、Web 300名程度
- プログラム
 1. 基調講演 「南海トラフ地震へどう備えるか」
香川大学 特任教授 金田 義行 氏
 2. パネルディスカッション テーマ「南海トラフ地震への備え」
<コーディネーター>
 - ・九州大学大学院 教授 三谷 泰浩 氏<パネリスト>
 - ・香川大学 特任教授 金田 義行 氏
 - ・九州災害情報(報道)研究会幹事〔㈱福岡放送 報道部 副部長〕 田中 俊憲 氏
 - ・宮崎県 小林土木事務所長 松田 豪紀 氏
 - ・気象庁 福岡管区气象台 総務部 業務課長 福山 由朗 氏
 - ・国土交通省 九州地方整備局 道路部 道路情報管理官 石橋 賢一 氏

- 事前申込方法：右QRコードもしくは以下URLより申込ください。
<https://e-ve.event-form.jp/event/116028/gensai1120>
(一般社団法人九州地域づくり協会ホームページより)



- 取材申込み：報道関係者の方は別添「送信票」によりメールにてお申し込み下さい。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 防災室 室長 坂本 二俊
建設専門官 栗田 耕一郎
電話：092-476-3544（直通）



九州減災シンポジウム

九州の自然災害リスクを知る・学ぶ ～南海トラフ地震に備える～

近年、激甚化、頻発化する自然災害は、我々が想像する規模、頻度をはるかに超え、特に、南海トラフ地震は、前回の昭和東南海地震（1944年）、昭和南海地震（1946年）の発生から約80年が経過し、いつ発生してもおかしくない状況であり、巨大地震への備えの重要性は高まるばかりです。

本シンポジウムでは”南海トラフ地震に備える”をテーマに講演を行い、語り合います。

令和7年 11月20日(木)

地震

会場 アクロス福岡 B2 イベントホール
福岡市中央区天神 1-1-1

参加者 会場：200名程度、Web：300名程度
※事前申込みにご協力下さい。

CPD 事前申込み会場受講者のみ対象

参加費
無料

Program

- (12:30 開場)
- 13:30 開会
- 13:35 主催者挨拶
九州大学 名誉教授 松田 泰治 氏
- 13:40 [第一部] 基調講演
テーマ「南海トラフ地震へどう備えるか」
～能登半島地震の教訓を活かす～
香川大学 特任教授 金田 義行 氏
- 14:40 休憩及び防災展示紹介
- 15:00 [第二部] パネルディスカッション
テーマ「南海トラフ地震への備え」
[コーディネーター] 九州大学大学院 教授 三谷 泰浩 氏
[パネリスト] 香川大学 特任教授 金田 義行 氏
九州災害情報(報道)研究会幹事[(株)福岡放送 報道部 副部長] 田中 俊憲 氏
宮崎県 小林土木事務所長 松田 豪紀 氏
気象庁 福岡管区气象台 総務部 業務課長 福山 由朗 氏
国土交通省 九州地方整備局 道路部 道路情報管理官 石橋 賢一 氏
- 17:00

津波

主催 九州減災シンポジウム実行委員会
[構成機関] 九州大学、九州地方整備局、福岡管区气象台、国土地理院九州地方測量部、NEXCO西日本(株)、福岡北九州高速道路公社、九州旅客鉄道(株)、九州電力(株)、西日本電信電話(株)、西部ガス(株)、(株)NTTドコモ、KDDI(株)、ソフトバンク(株)、楽天モバイル(株)、(株)QTnet(一社)九州地域づくり協会【事務局】

共催 九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構、(一社)国立大学協会九州地区支部会議 防災・環境ネットワーク部会、(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部

後援 九州防災連絡会

事前申込み先 / 一般社団法人九州地域づくり協会ホームページから <https://www.qscpuu.or.jp/>
※申込み締切: 11月18日12時

問い合わせ先 / 同協会企画課 TEL092-476-5680



事前申込みQRコード



九州減災シンポジウム

九州の自然災害リスクを知る・学ぶ

～南海トラフ地震に備える～

[登壇者プロフィール]



九州大学 名誉教授
まつだ たいじ
松田 泰治 氏

平成16年4月熊本大学工学部教授、平成29年5月九州大学大学院教授を経て、現職。熊本地震では自身も被災され、現地に対応にあたる。地震工学の立場から、地域の防災力向上に貢献できるシステム構築に取り組んでいる。



九州大学 大学院教授 (コーディネーター)
みやた やすひろ
三谷 泰浩 氏

平成3年九州大学土木工学科を修了後、民間の建設会社を経て、平成9年より九州大学に勤務。現在、九州大学工学研究院附属アジア防災研究センター教授。熊本地震、平成29年九州北部豪雨などの災害対応を実施。現在は、市町村向け防災対応システムの開発、地域防災など防災に関する研究に幅広く取り組んでいる。



香川大学 特任教授
かねだ よしゆき
金田 義行 氏

理学博士。これまで海洋研究開発機構、名古屋大学などを経て2016年4月より現職。専門分野は地震学で、これまで南海トラフ巨大地震研究、地下構造研究、シミュレーション研究、リアルタイムモニタリング研究ならびに減災科学研究を推進している。現在は、減災研究等を推進している。



九州災害情報(報道)研究会幹事
(株)福岡放送 報道部 副部長
たなか としのり
田中 俊憲 氏

福岡放送報道部ニューステスク。東日本大震災、熊本地震、能登半島地震などで現地の放送局に入り、取材手配やクルーの安全管理など担当。九州災害情報(報道)研究会を2015年に立ち上げ、幹事として、災害報道、災害情報の向上に取り組む。現在、国土交通省リスクコミュニケーション懇談会メンバー、気象庁の地域防災支援に関する有識者検討会の委員など務める。



宮崎県 小林土木事務所長
まつだ ひでとし
松田 豪紀 氏

平成4年、宮崎県に土木職として入庁以来、日向土木事務所道路課長や都市計画課長などを歴任し、現在、小林土木事務所長を務める。平成25年度に宮城県に派遣され、東日本大震災の復興支援(災害廃棄物の処理等)に従事した経験を持つ。



気象庁 福岡管区気象台 総務部 業務課長
ふくやま よしあき
福山 由朗 氏

平成13年4月気象大学校採用。これまで札幌管区気象台や気象庁地震火山部のほか、文部科学省(地震調査研究推進本部事務局)や内閣府(防災担当)への出向など地震火山業務に多く携わり、今年4月より現職。内閣府(防災担当)出向の際には、南海トラフ地震対策の企画立案にあたる。



国土交通省 九州地方整備局 道路部 道路情報管理官
いしはら けんいち
石橋 賢一 氏

平成元年建設省九州地方建設局に入省後、本省道路局、沖縄総合事務局、九州地方整備局道路計画第二課長を歴任後、佐伯河川国道事務所長などを経て、令和6年4月から現職。これまで道路事業全般に従事しており、九州での様々な災害対応のほか、全国の災害支援も経験しており、現在は九州管内の道路防災対応を総括している。



東日本大震災での津波来襲の状況(出典:東北地方整備局 震災伝承館)

[防災展示]

- | | | | | | | | | | |
|---------|---------|-----------|---------------|-----------|-----------|-----------|-------------|---------------|-------------|
| 九州電力(株) | 西部ガス(株) | 九州旅客鉄道(株) | (株)NTTドコモCS九州 | ソフトバンク(株) | 楽天モバイル(株) | (株)Q Tnet | 気象庁 福岡管区気象台 | 国土地理院 九州地方測量部 | 九州地方整備局 防災室 |
|---------|---------|-----------|---------------|-----------|-----------|-----------|-------------|---------------|-------------|